

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

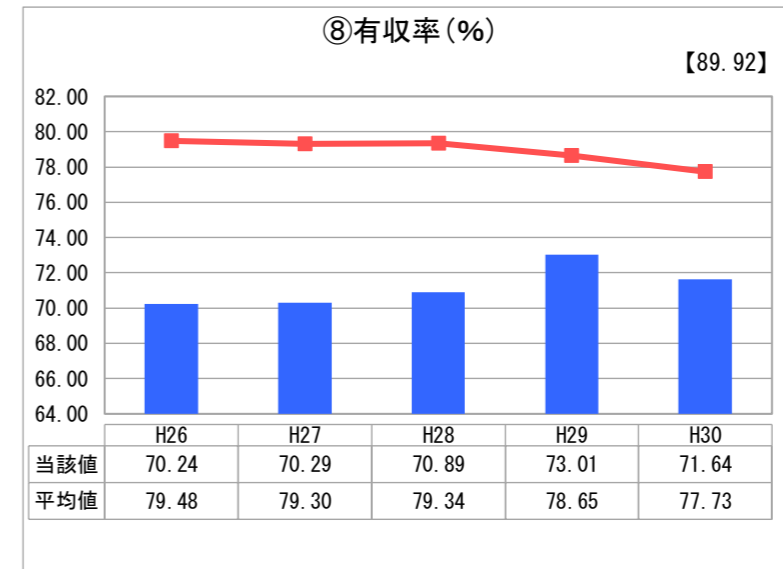
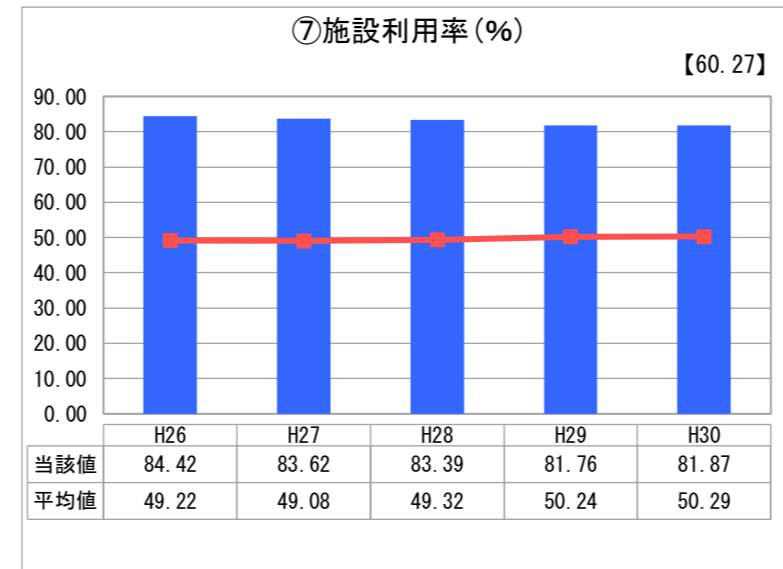
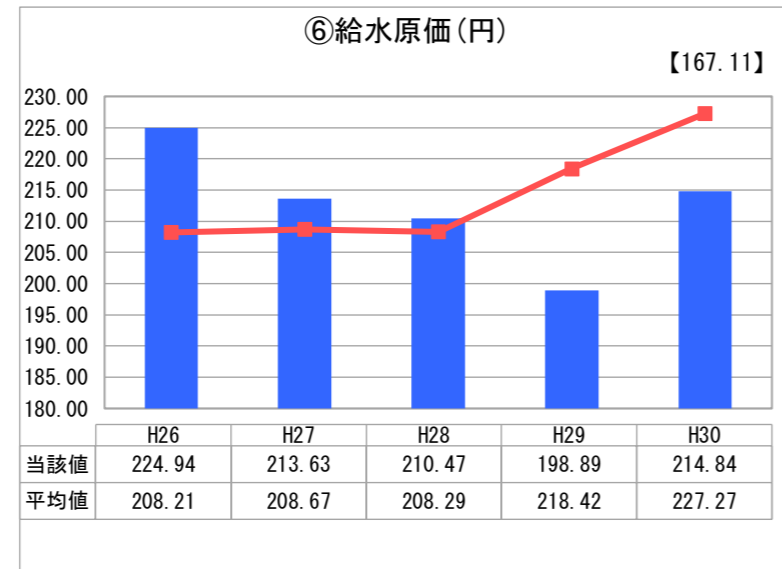
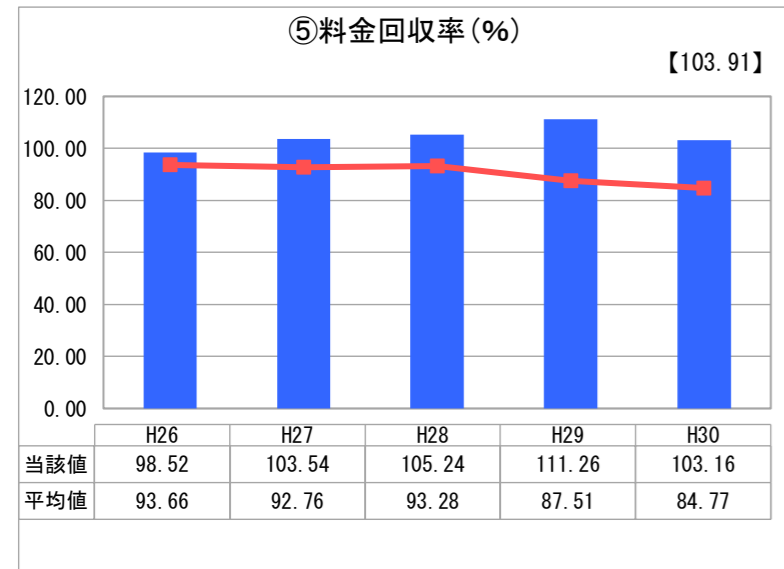
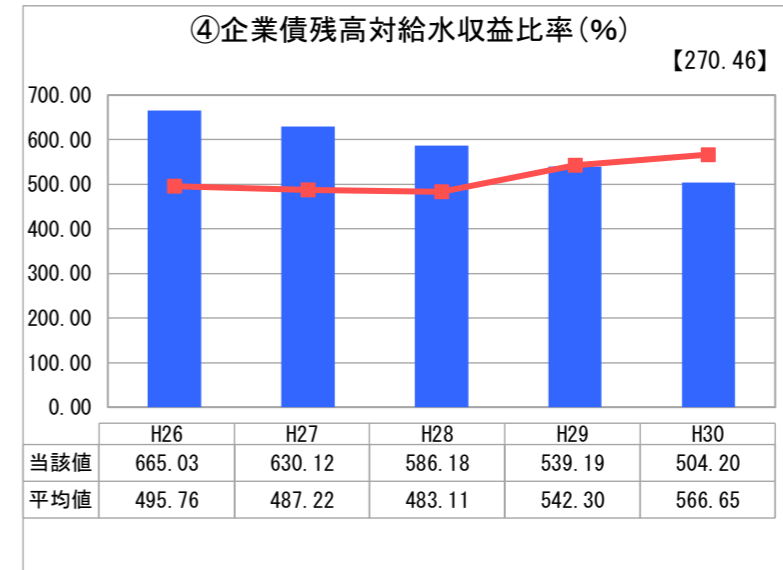
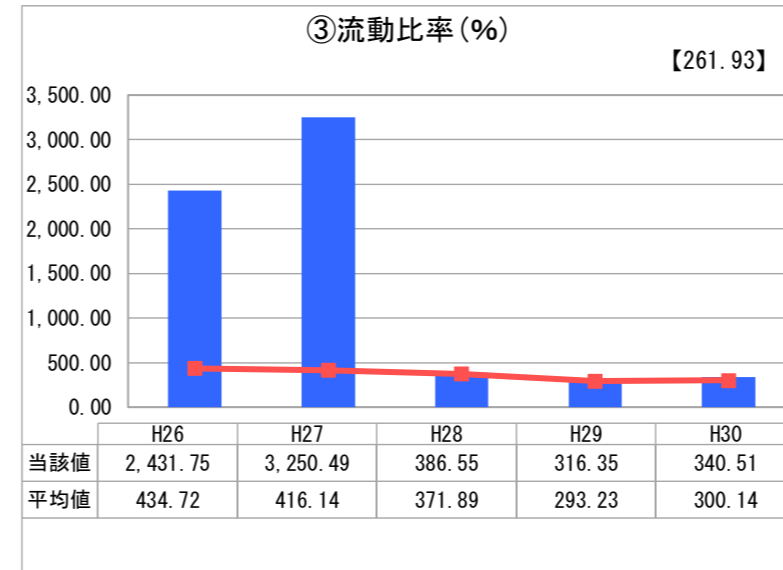
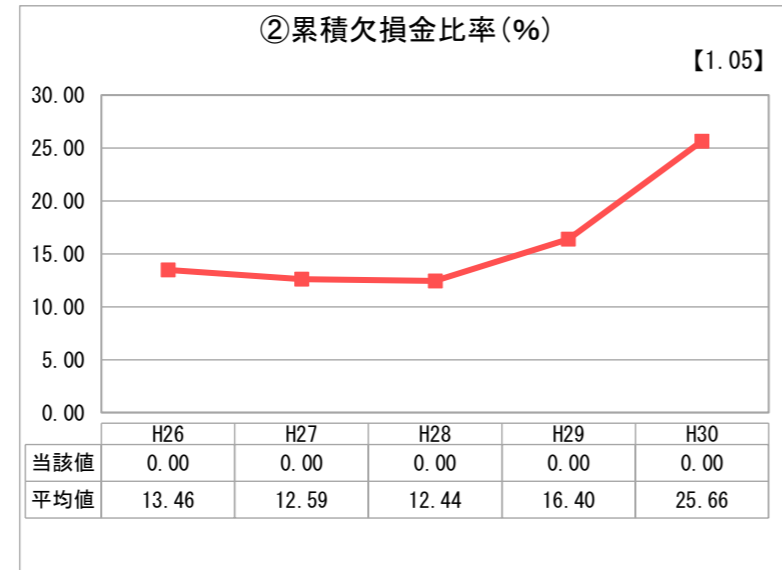
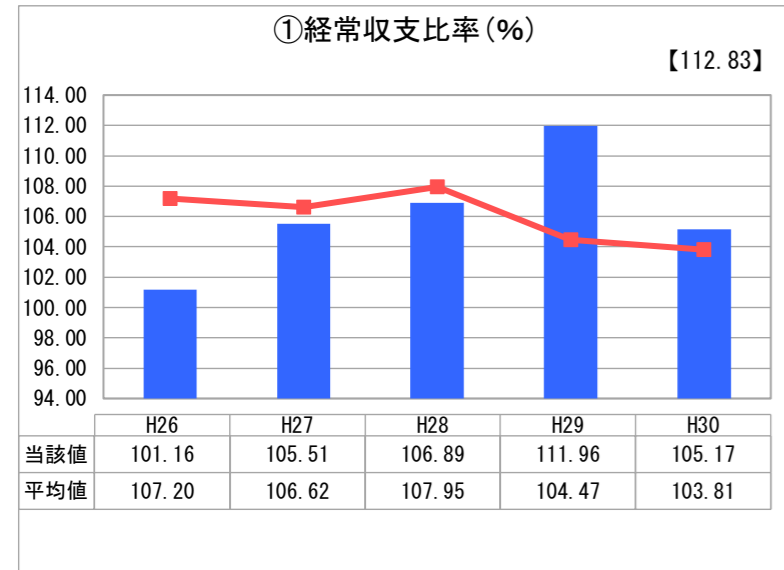
岩手県 九戸村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	58.29	92.16	3,943	

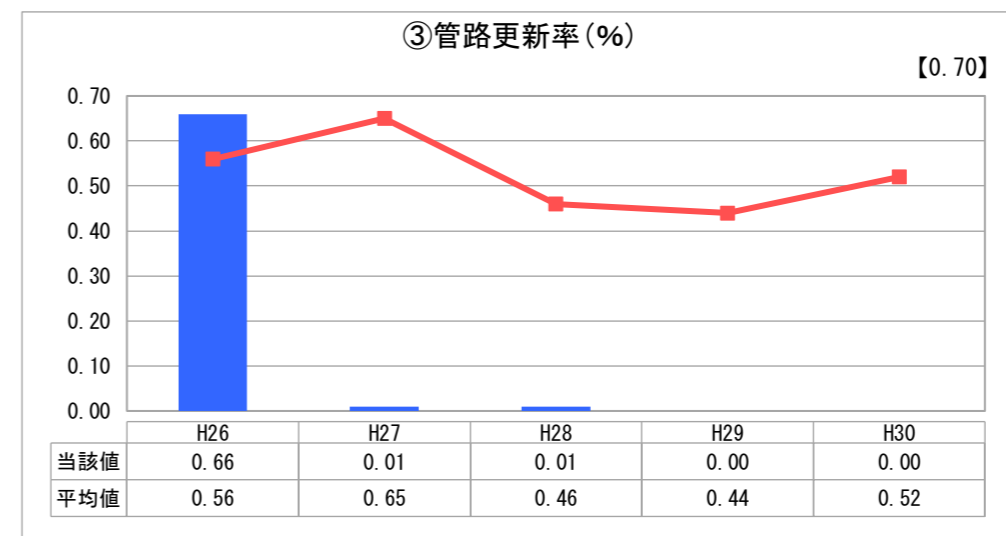
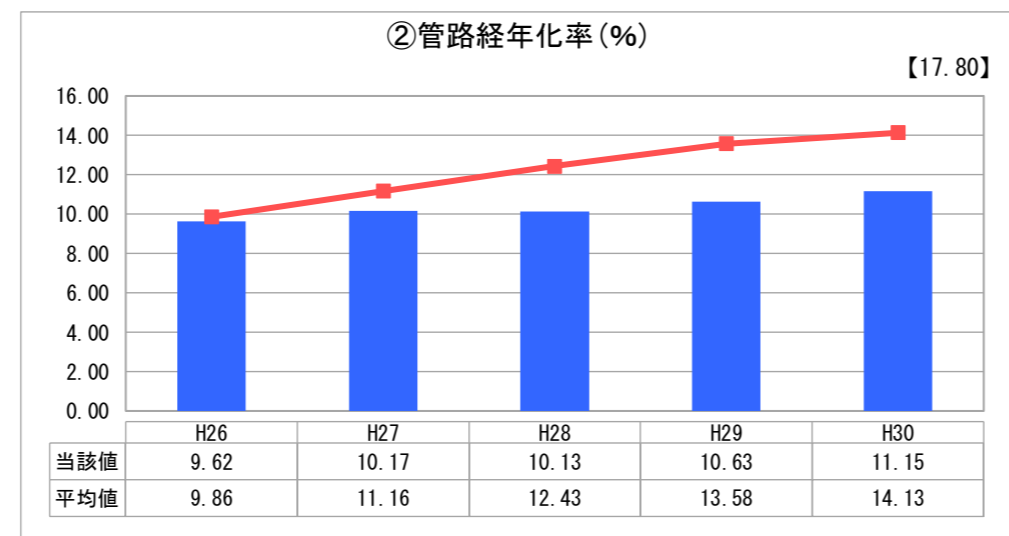
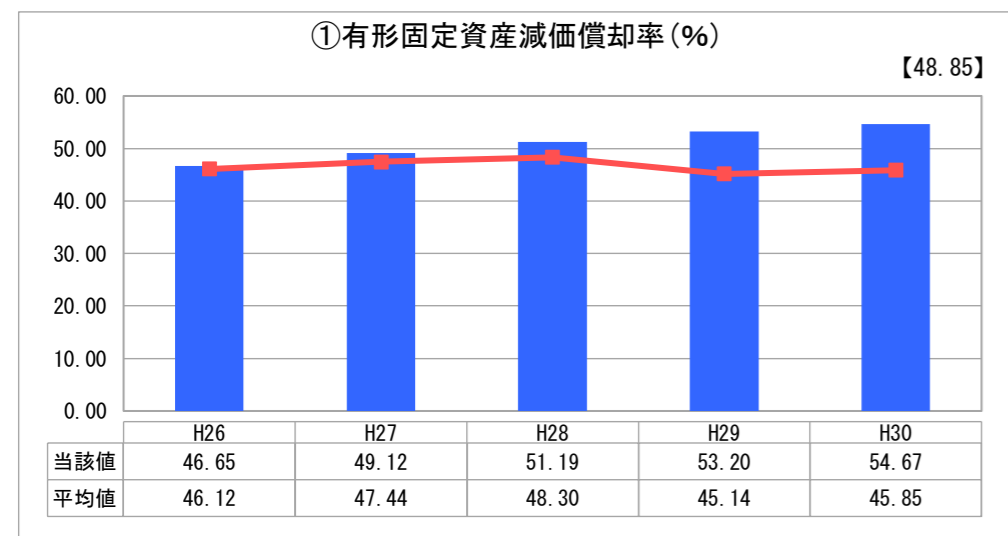
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,802	134.02	43.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,315	25.87	205.45

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

九戸村水道事業の経営状況は、経常収支比率が前年度より降下傾向にあるが黒字を保ち、類似団体の平均値を超える状況にある。また、料金回収率をみると、給水収益により給水に係る費用を賄っており類似団体の平均値を上回っていることから概ね健全性が保たれている状況にある。

流動比率は、償還金のピークが過ぎたことから減少傾向にあり、企業債残高対給水収益比率についても、類似団体の平均を下回っている状況にあるが、今後、基本計画に基づいて施設設備の更新事業が始まることから、適切な投資と料金水準の見直しが必要である。

給水原価については、今後更なる維持管理費の削減を図り、経営の改善を検討する必要がある。

施設利用率及び有収率については、施設の稼働状況は高いものの、有収率は全国及び類似団体に比較し大幅に低い状況となっていることから、漏水地区の特定やメーター不良などの原因解明と早期解消に努め、収益の向上を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、全国及び類似団体平均とほぼ等しい状況であるが、年々増加傾向にあることから基本計画に基づいて更新事業を進める必要がある。

管路の状況については、平成4年から平成19年にかけて老朽管の更新を行ったが、未着手地域の管路や耐用年数を超過した管路の更新が滞っていることから経年率は年々増加傾向にある。また、管路更新率は全国及び類似団体の平均と比較すると極めて低い状況であることから、基本計画に基づいて管路更新を進める必要がある。

### 全体総括

経営状況は概ね良好ではある。

しかし、老朽化した管路や施設・設備の更新事業を行う必要があり、また、人口減少に伴う収益の減が想定されることから、これまで実施したアセットマネジメント及び今年度策定となった経営戦略をもとに現在の水道事業状況を十分に把握したうえで、安定した経費配分と施設・設備の更新を進めていく必要がある。